

夏ノ七表

たらしくしたてられたり後へご三条院へてうのゐんの  
みゆき神思ひおたるふらんかことのみ

て釣殿へつりどののはしらに書付へかきつけ侍りし

たてたりし覚か御ゆきを待つて

神いかばかりうれしかるらん

そのとしはすみよしにさふらひてかへると

しの雲都へみやこのかたへ行とて津国難波へつのくになにはわ

たりせへけるに春風へはるかぜにはかに芦へあし

の枯葉へかればかりをとづれてもの心ほすくお